

公 表 日

令和 4年 2月15日

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	令和3年度大野川水系事業計画検討業務
業務概要	別紙のとおり
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 大分河川国道事務所長 樋口 尚弘 大分県大分市西大道1丁目1番71号
契約年月日	令和 4年 2月15日
契約業者名	(株)建設技術研究所
契約業者の住所	福岡県福岡市中央区大名2-4-12
契約金額	39,996,000円(税込み)
予定価格	39,996,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり
業務場所	大野川流域
業種区分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間(自)	令和 4年 2月16日
履行期間(至)	令和 5年 2月28日
備考	入札情報サービス(PPI) (http://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

契約理由書

1. 業務件名 令和3年度大野川水系事業計画検討業務
2. 履行場所 大野川流域
3. 契約の相手方 住所：福岡市中央区大名2-4-12 CTI 福岡ビル
会社名：株式会社建設技術研究所 九州支社
電話：092-714-2211
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号
5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由
 - 1) 当該業務の目的
本業務は、「大野川水系河川整備計画」に基づく段階整備検討及び多段階の浸水想定図・水害リスクマップの作成を行い、今後の事業計画の基礎資料とするものである。
 - 2) 業務の内容
計画準備、資料収集整理、河川整備計画検討、浸水想定図及びリスクマップ作成、報告書作成
 - 3) 契約に付する理由
本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。
参加可能業者が最低20者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を24者が入手（ダウンロード）し、3者から参加表明書が提出され、3者が参加資格を有していた。
参加資格を有する参加表明書提出者のうち3者を技術提案書の提出者として選定し、3者から技術提案書が提出された。
建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び特定テーマに係る技術力を備えていると判断される。
特に、「実施方針・実施フロー・工程表・その他」の「業務理解度」において目的、条件、内容が簡潔に表現され、優れていること、及び特定テーマの「大野川水系の特性を踏まえた外水内水一体型リスクマップを作成する上での留意点に対する具体的な実施手法について」に対する技術提案について総合的に優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記業者と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

大分河川国道事務所 調査第一課長